

令和7年度(2025年度)第15回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和8年(2026年)3月16日(月) 午後2時30分～午後3時50分

場 所：本部棟2階大会議室及びオンライン

出席者：○委員

学長	堤 裕昭
副学長	鈴木 元
事務局長	梅川 日出樹
文学部長	村尾 治彦
環境共生学部長	白土 英樹
総合管理学部長	宮園 博光
共通教育センター長	山田 俊
地域・研究連携センター長	石橋 康弘 (リモート参加)
デジタルイノベーション推進センター長	飯村 伊智郎 (リモート参加)
国際教育交流センター長	モロー ジェフリー スチュワート (リモート参加)
熊本大学理事	宮尾 千加子
株式会社エフエム熊本相談役	荒木 正博

○監事

公認会計士・税理士	吉川 榮一 (リモート参加)
-----------	----------------

○事務局

久保田事務局次長、柳田総務課長、木山企画調整室長、堀口教務入試課長、國武学生支援課長、平松国際教育交流センター事務長、山村入試班長、藤本教務班参事、岡村教務班主事

○欠席委員等

熊本県公立高等学校校長会長	田中 篤
弁護士	本田 悟士

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

(1) 審議事項

① 令和8年度計画(案)について

事務局企画調整室から、資料1-1、1-2に基づき、来年度の年度計画について、新たな取り組みとして始まった取組等について、項目ごとに説明があった。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

② 新学部設置準備室の設置について

事務局企画調整室から、資料2に沿って、令和9年4月に開設する予定の半導体学

部（仮称）の学部設置準備室から、その概要等について説明があった。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

③ 学部長等の選考、指名について

事務局総務課から、資料3に基づき、学長等の選考、指名について、去る第13回教育研究会議で一度審議了承いただいたが、その後、総合管理学部ビジネス専攻長が変更となったため、改めてその部分についてのみ審議頂くもの、との説明があった。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

④ 令和8年度（2026年度）入学者選抜（大学院博士後期課程秋季入学（熊本県立大学水銀研究留学生奨学金枠を除く））の実施方針について

事務局教務入試課から、資料4に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・ 標記の入学者選抜に係る実施方針で、例年と同様の募集人員及びスケジュールをお示している。審議をお願いしたい。
- ・ 本年度から、同様の入学時期に国費外国人留学生で、本学への進学を希望する者の志願があった場合、この入学選抜の日程に合わせて同様に実施するとの注意書きが書き加えられている。併せて審議をお願いしたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

⑤ 令和8年度（2026年度）入学者選抜（大学院博士後期課程秋季入学：熊本県立大学水銀研究留学生奨学金枠）の実施方針について

事務局教務入試課から、資料5に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・ 令和8年度（2026年度）入学者選抜のうち大学院秋季入学の博士後期課程の、水銀研究留学生奨学金特別選抜について、募集人員2名とし、例年と同様のスケジュールでお示ししている。審議をお願いしたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

⑥ 博士前期課程における学内推薦選抜（仮称）の導入について

事務局教務入試課から資料6に基づき、概要説明があり、加えて柴田大学院委員会委員長から、詳細についての説明があった。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

⑦ 名誉教授称号授与について

事務局総務課から資料7に基づき、該当者の紹介があり、加えて、環境共生学部長及び総合管理学部長から、推薦状に基づき候補者の推薦理由の詳細の説明があった。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

⑧ 教員の採用に係る枠取りについて

1) 日本古代文学（文学部）

村尾文学部長から資料 8-1 に沿って、教員の枠取りの職名、応募条件及び採用後の学科内の専門分野構成等について説明があった。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

2) 英語圏文化・思想・文学（文学部）

村尾文学部長から資料 8-2 に沿って、教員の枠取りの職名、応募条件及び採用後の学科内の専門分野構成等について説明があった。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

3) 情報学（地域情報学および社会情報学）

宮園総合管理学部長から資料 8-3 に沿って、教員の枠取りの職名、応募条件及び採用後の学科内の専門分野構成等について説明があった。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

⑨ 熊本県立大学特任教授の任用について

事務局国際教育交流センターから、資料 9 に沿って、JICA からの出向者の期間満了に伴う新たな特任教授の任用について（R8～R9 の 2 年間）説明があった。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

（2）報告事項

① 令和 8 年度教員の採用について

事務局総務課から、資料 10 に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・ 令和 8 年度 4 月から資料のとおり、文学部 1 名、環境共生学部 2 名、総合管理学部 5 名の教員の採用が予定されているのでご報告する。全て教育研究会議で審議いただいた方である。

② 高度グローバル人材育成のための大学院教育（B パターン）について

事務局国際教育交流センターから、資料 11 に基づき、JICA との連携協定に基づいて行われている大学院教育（B パターン）に関して、R10 年度で協力期間が終了するため、R11～R15 年度の連携派遣の継続に向けた提案書を JICA に提出するとの説明があった。

③ 修学支援推進委員会規程の新設について

事務局学生支援課から、資料 12 に基づき、障がいがある学生への修学支援に関し

て、現在のワーキンググループから、委員会で対応する枠組みを作るための規程を新設することに関しての報告があった。

4 その他

次回の日程

令和6年度(2024年度)第16回 3月20日(木・祝)午前10時から
本部棟2階大会議室及びオンライン

5 閉会